



【「団結頑張ろう」で閉会、「次回は博多で会いましょう!」】

JR車掌協議会 第24回総会

国労九州JR車掌協議会の第24回総会が4月24日、鹿児島県指宿市「休暇村 指宿」で開催された。約40人が参加した。

一層の団結を 鹿児島

総会は、議長に福田さん（鹿児島）を選出して議事を進行。西原協議会議長は、熊本地震の影響で全職場から集

まる事が出来なかった昨年の総会を総括し、今年は何時もの顔ぶれを見てほっとしたと歓迎の挨拶を行った。

真子九州本部委員長は、鹿児島での開催に労をねぎらい、株式上場した会社の現状、JR発足30年の節目に行われた全国安全キャラバン行動、相次いで発生したホームからの転落事故などを報告。労働条件改善署名の署名者数が組合員の倍以上あった現状をふまえ、労働組合として安全・安定輸送の取り組みを大にして取り組んで行こうと挨拶した。

討論では、4両ワンマン運転での問題点と宮崎乗務センターの現状（鹿児島・柏木）、新制服での問題点、50才以上で行われた基本動作訓練（門司・原田）、組織拡大の取り組み、新制服のクリーニングについて（博多・萩原）、日勤教育の経緯、アルコール検知器の運用について（唐津・実松）、

無人駅が多い現状での現行の釣銭金額、2両ワンマン分以外のホームの現状と嵩上げ（長崎・秀島）、4両ワンマン運転での特改乗務、ダイヤ改正以降乗務する列車が減った職場の現状（宮崎・川越）、ダイヤ改正以降乗務が乗務しなくなった現状、組によってヨビ人数が少ない中で年の休取得の問題（門司・田中）、介護休暇の取得と積み立て保存休暇の使用について（同・野上）などの発言があった。

役員改選では、高橋（博多）・俵坂（長崎）・外園（鹿児島）の各副議長が退き、新たに原さん（博多）・武富さん（長崎）・丸山さん（鹿児島）が副議長に就いた。

旧指宿海軍航空基地跡を散策

総会の翌25日は、干潮時には歩いて渡ることができる知林ヶ島への約800mの砂の道や、隣接する旧指宿海軍航空基地跡周辺を散策した。干潮時にしか現れない海中の滑走路、強固な防空壕とその上に建てられた哀惜の碑や特攻隊の遺書が残る慰霊碑などを見学。戦争の愚かさや反戦・平和への思いを新たにされた。

（武富、上之濱、北村、秀島、米満）

ダイヤ改正後の見直し要求

5月20日までに提出を

長崎地区本部と長崎分会は4月20日、地区本部事務所で執行委員会を開き、平成29年ダイヤ改正後の見直し要求の提出期限を5月20日までとた。各組合員に要求の提出を呼びかける。



【特攻隊として飛び立っていった若者の遺書が残る「指宿海軍航空基地 哀惜の碑」】